

| | | | |
|----|----|-----|---|
| 教科 | 英語 | 単元名 | Program2「Leave Only Footprints」 (Sunshine 2) |
|----|----|-----|---|

本時のねらい

- ① 「しなければならない」「する必要がない」という英語表現を考え書くことができる ② 自分の考えを理由とともに明確に書いたり伝えたりできる

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ① Web アプリ「ジョイ単」で英単語の音声を聞き、意味を繰り返し確かめることで定着を図る。
② ロイロノートのアンケート作成機能を活用し、他者の意見や考えに触れることで理解を深める。
③ ロイロノートで発表用スライドを作り、自分の考えを順序立てて発表する。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・テレビモニター ・PowerPoint ・ロイロノート ・Web アプリ「ジョイ単」

本時の展開

| 学習の流れ | 主な学習活動と内容 | ICT 活用のポイント・工夫 |
|-------------|---|---|
| 導入 (15分) | <ul style="list-style-type: none"> ・単語のチェック Web アプリ「ジョイ単」で英単語の音声を聞きながら、意味を繰り返し確かめる。 ・前時のふりかえり 前時に「学校生活における必要・不必要」というテーマをもとに考えた自分の主張をパワーポイントでおさらいする。 Program2 の文法内容 (I think that, have to) の復習を行い、常に確認できるよう板書に残す。 【写真 1】 | <ul style="list-style-type: none"> ☆Web アプリ「ジョイ単」を使うことで、英語を書くことに支援が必要な生徒の英単語への抵抗感を軽減できる。本アプリでは高得点を取ることができる生徒が多いため、英語に対する自信につながっている。また、本アプリは英単語の音声を聞きながら短時間で多くの問題を解くことができるため、たくさんの単語に触れることができる。 ☆パワーポイント等を活用し、視覚的な補助を加えることで生徒たちは英文をイメージしやすくなる。 |
| 展開 (30分) | <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートでプレゼンテーションのためのスライドを作成 ①タイトルと名前 ②主張 (例：中学生がスマホを持つ必要があるのか) ③根拠 (例：ゲームをしてしまう人が多いから必要ない) ④感想 【写真 2】 | <ul style="list-style-type: none"> ☆プレゼンテーション用のスライドをロイロノートで作成する。人前で発言することに苦手意識を持つ生徒が多いため、自分の意見を「分かりやすくまとめる」という視点で取組みを進める。 ☆アンケート機能等を活用することで、交流学級の生徒等の多くの人の意見や考え方にも触れることができる。 |
| まとめ (5分) | <ul style="list-style-type: none"> ・本時のふりかえり <p>【写真 3】</p> | <ul style="list-style-type: none"> ☆次時の発表に向けて、自分の伝えたいこと、表現したいこと、発表の仕方について再確認する。 |

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1 Web アプリ「ジョイ単」で英単語の確認をしている場面



写真 2 ロイロノートのアンケート作成機能を活用している場面



写真 3 ロイロノートで本時のまとめを入力している場面

児童生徒の反応や変容

理由とともに自分の考えを表現できなかった生徒が、アンケート実施後、他の生徒の回答から「このように言えばいいのか！」とヒントを得て、理由を付け加えることができるようになった。他者の意見・考え方を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた生徒もいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

支援学級の生徒は「文字を書くこと」、「人前で話すこと」、「静かに説明を聞くこと」などにおいて困難を抱えている場合がある。生徒によってそれぞれ異なっているが、一人ひとりの状況に合わせ ICT を活用することで、「書く」のではなく「入力する」、「人前で話す」のではなく「事前にロイロノートに録音する」、「音声のみで説明を聞く」のではなく「映像や画像を見ながら説明を聞く」というような個に応じた学習指導ができる。また、ICT を活用することで、デジタル教材を選んで活用することや生徒たちの学習記録を分析することで、生徒一人ひとりに適した学習指導ができるため、今後も効果的に ICT を活用できるよう授業改善に取り組んでいきたい。